

キッズクラウン

再使用禁止

【禁忌・禁止】

＜適用対象（患者）＞

- 本品の材質（ニッケル）に対し、アナフィラキシー症状の既往歴がある患者

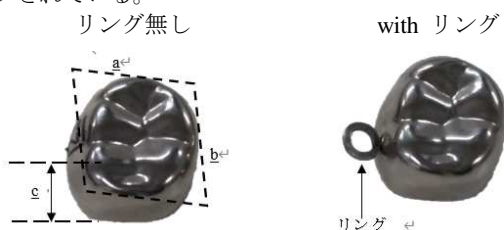
＜使用方法＞

- 本品の材質（ニッケル）に対し、アナフィラキシー症状の既往歴がある医療従事者は使用しないこと。
- 再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】*/**

[形状]

本品は、乳臼歯状の既製クラウンである。「リング無し」とリングが付与されている「with リング」との 2 種類があり、それぞれ全 48 形態からなる。クラウン表面はシリカでコーティングされている。



[サイズ・種類]

(a×b×c 単位: mm)

部位	サイズ	左側 (L)	右側 (R)		
第一乳臼歯 (D)	上顎 (U)	2	8.0×6.6×4.8	7.8×6.6×4.5	
		3	8.4×7.1×4.7	8.4×7.1×4.9	
		4	8.7×7.5×5.0	8.8×7.4×5.2	
		5	8.9×7.7×5.1	9.1×7.4×5.4	
		6	9.4×7.9×5.6	9.5×7.8×5.6	
		7	9.9×8.4×5.8	10.1×8.4×5.7	
		下顎 (L)	2	6.3×7.5×5.4	6.3×7.6×5.4
	3		6.8×8.0×5.7	6.7×8.0×5.5	
	4		7.0×8.4×5.5	7.0×8.3×5.8	
	5		7.3×8.7×6.1	7.5×8.6×6.1	
	6		7.7×9.2×6.4	7.8×9.2×6.3	
	7		8.3×9.7×6.8	8.2×9.7×6.8	
	第二乳臼歯 (E)		上顎 (U)	2	10.0×9.0×5.7
		3		10.7×9.5×5.7	10.6×9.6×5.7
4		11.2×9.9×6.2		11.0×9.9×6.3	
5		11.6×10.3×6.3		11.5×10.4×6.1	
6		12.0×10.8×6.4		11.9×10.6×6.6	
7		12.3×11.1×6.7		12.2×11.0×7.0	
下顎 (L)		2		8.7×9.6×5.5	8.7×9.5×5.4
		3	9.1×10.1×5.6	9.1×10.1×5.5	
		4	9.4×10.3×5.7	9.5×10.3×5.8	
		5	9.9×11.0×6.1	9.9×10.8×5.8	
		6	10.2×11.4×6.3	10.2×11.2×6.2	
		7	10.5×11.8×6.4	10.5×11.6×6.3	

[体に接触する部分の主な組成] *

- ・クラウン：ステンレス鋼（成分表以下のとおり）

成分	wt%
鉄	64 以上
クロム	18 ~ 20
ニッケル	9 ~ 13
マンガン	2 以下
その他	1 以下

- ・コーティング：シリカ

- ・リング：ステンレス鋼

[原理]

本品を、支台歯形成された乳臼歯に歯科用合着セメントで合着することにより、咀嚼機能の修復を行う。

【使用目的又は効果】

乳臼歯の歯冠部に被覆する歯冠成形品として用いる。

【使用方法等】*

[使用方法]

1. リング無し

- 1) 通法により、支台歯形成を行う。
- 2) 支台歯の近遠心径（隣接歯とのコンタクトポイント間）をキャリパスで計測し、近いサイズの本品を選択する。
- 3) 支台歯に本品を試適し、マージン部の適合性、隣接歯とのコンタクト、及び対合歯との咬合を確認する。
- 4) 本品を試適した際、本品のマージンの長さを確認する。マージンが長すぎる場合は、先端の鋭利な探針等を用いて歯肉縁に沿って本品に輪郭線を記印し、その線の約 1mm 下を金冠ばさみでトリミングしてマージン部を調整する。その後、ポイント等でバリを取り除き、表面を平滑にする。
- 5) マージン部の適合が得られるよう、プライヤーで形を整える。
- 6) ヒートレスストーンでマージン部をわずかに薄くした後、ラバーホイールで仕上げ研磨を行う。
- 7) 再度試適し、咬合調整を行う。
- 8) セメントで合着する際は、本品を舌側または口蓋側の支台歯の辺縁側から、頬側に向かって被せる（パチンと嵌まる音がする場合がある）。
- 9) セメントが硬化して合着が完了するまで、患者に綿球等を咬ませておく。
- 10) 探針、スクレーラー、フロス等を用いて余剰セメントを除去する。
- 11) 最後に、マージン部及び咬合の状態を再度確認する。

2. with リング

- 1) 通法により、支台歯形成を行う。
- 2) 支台歯の近遠心径（隣接歯とのコンタクトポイント間）をキャリパスで計測し、近いサイズの本品を選択する。リングは頬側になるよう接着されている。
- 3) リングにフロスを通し、手指でフロスを保持する。

- (4) 支台歯に本品を試適し、マージン部の適合性、隣接歯とのコンタクト、及び対合歯との咬合を確認する。
- (5) 1.リング無しの使用法(4)～(11)と同じ。
- (6) リングを取り外す為、フロスを通したままのリングをプライヤーで保持し、リングをねじり取る。
- (7) リングが接着されていたクラウン表面をシリコンポイントで研磨する。

[組み合わせて使用する医療機器]

- (1) セメントは、レジン強化型グラスアイオノマーセメント、グラスアイオノマーセメント等を使用すること。

[使用方法等に関連する使用上の注意]

- (1) 本品は、口腔内にラバーダムシートを装着してから使用すること。
- (2) 合着の際は、被せたクラウンからセメントが流れ出る程の十分な量のセメントを使用すること [セメント量が不足すると、十分な強度を得られないおそれがある]
- (3) リングが接着されていたクラウン表面以外は、口腔内で、本品の削合及び研磨を行わないこと。

【使用上の注意】**

[重要な基本的注意]

- (1) 本品の使用により、発疹、皮膚炎等の過敏症状を起こした患者及び医療従事者には使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
- (2) 本品については、試験による MR 安全性評価を実施していない。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売業者：**株式会社モリタ**

電話 番号：06-6380-2525

外国製造業者：シンハン Shinhung Co., Ltd

国 名：大韓民国

[お問い合わせ先]

問合せ窓口：株式会社モリタ お客様相談センター

電話 番号：0800-222-8020 (無料)

F a x 番号：0800-222-6480 (無料)

E - m a i l：e-customer@morita.com